



北心だより

令和7年8月28日 NO.6



学校教育目標

夢に向かって 輝き合う子



・ ・ 日頃の備え これからも大切に ・ ・



今年の夏休みは、40日間という長い休みでした。本日朝、登校してくる子供たちを正門で迎えました。2学期が始まるのでがんばろうといった顔つきが印象的でした。また、大きな事故もなく無事に夏休みを過ごすことができたことに嬉しく思いました。

この夏は、昨年度に増して自然の厳しさが特に身にしみた日々でした。それは、連日、酷暑が続き、時には日中40度に迫る気温を体感したこと、7月30日にカムチャッカ半島付近で地震が発生し津波警報が発令されたこと、特に、津波警報が発令された時には、浜名地区では、避難の対象外ではありましたが、もし地震が起こった場合の備えや避難できる準備について頭の中をよぎりました。地震が起こる前に確実に確認したいことは「家具の固定、水などの備蓄、避難場所・経路の確認、家族との連絡方法」です。いつ起こっても対応できるように「日頃の備え」はこれからも大切にしていこうと強く感じています。

さて、北浜北小の2学期が始まりました。北北の子の明るく元気な声が学校に戻ってきました。2学期はとて中身の濃い学期です。校外学習、新体力テスト、持久走記録会、5年生は林間学校、6年生修学旅行、そして何よりも学習の内容が濃くなっています。

そんな2学期だからこそ子供に意識してもらいたいことがあります。それは合言葉の**自分から**です。「先生や家の人に言われたからやる」「友達がやったからやる」それでは自分の力になりません。大切なのは、自分から行動することで周りのみんなもいい気持ちになり、力を合わせることができます。そして、子供たち一人一人の力を伸ばしていきます。そして、他者と関わりながら協力し、切磋琢磨していくことで大きな成長につながります。



また、保護者の皆様の御理解と御協力がプラスαになって子供たちはさらに成長していきます。そこで、保護者の「日頃の備え」を改めて確認してみたいと思います。文部科学省から出されている幼少期の育て方、保護者が心得るべき7つのことから以下のことを抜粋しました。

「①規則正しい生活リズムを保つ ②思いやりを持って接する ③満足感や達成感を得る機会を作る ④いろいろな人と関わりをもつ ⑤遊びや生活の中で考える力を伸ばす ⑥自然と関わりをもつ機会を作る ⑦美しいものや心を動かす出来事に触れる機会を作る」です。日々忙しい中で全てを意識するのは大変です。できることから確認してみると良いと思います。

まだまだ厳しい残暑が続きます。長期休業明けは、児童が暑さや運動等に体が慣れていない場合があり、熱中症になりやすい時期です。熱中症の発生には個々の体調が大きく影響するため以下のことに気を付け

ていきます。

○運動前に暑さ指数を測定し、熱中症予防のための運動指針にそって行います。

○個々の体調に合わせたこまめな水分補給、休息、環境の配慮をしていきます。

なお、睡眠不足、朝食をとっていない、おなかの調子が悪い、脱水しやすい、体温調整がしづらい等で熱中症へのリスクが高まります。体調管理については御家庭でもお気を付けください。



今学期もどうぞよろしくお願ひいたします。何かありましたら気軽に学校に御連絡ください。

(校長 袴田 洋史)